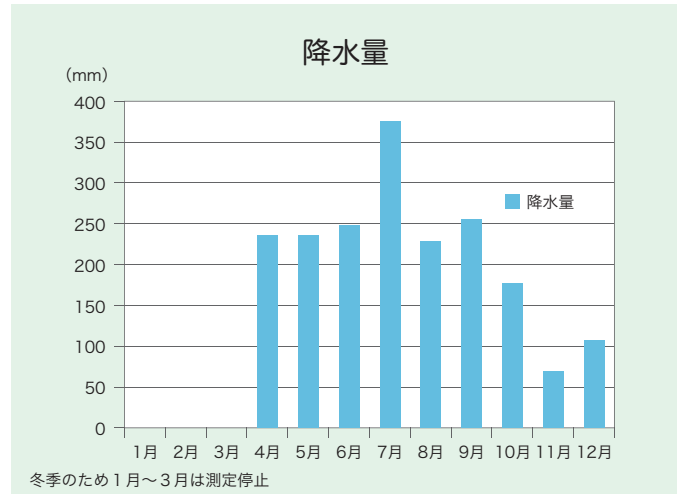
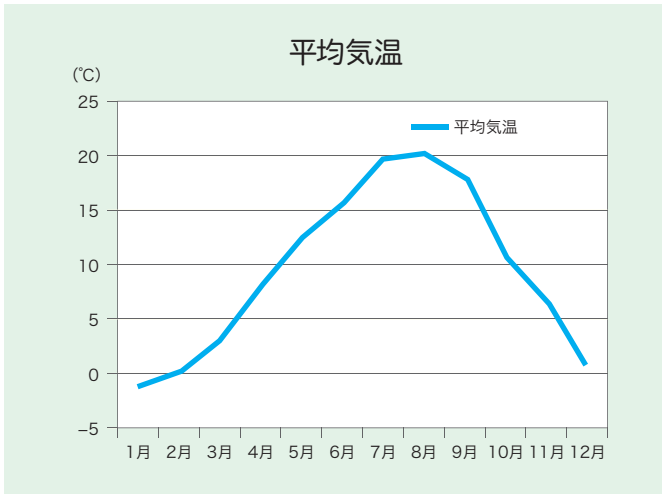


井川演習林

気象



種別	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
高極	°C	14.1 (2009)	19.9 (2009)	23.2 (2010)	25.9 (2003)	29 (2009)	27.9 (2010)	32.1 (2001)	32.1 (2007)	31.5 (2007)	26.6 (2009)	23.2 (2008)	16.7 (2008)
低極	°C	-12.8 (2001)	-11.4 (2001)	-10.2 (2001)	-8.3 (2001)	2.4 (2001)	6.4 (2010)	11.3 (2008)	10.4 (2004)	2.2 (2001)	-0.5 (2002)	-4.6 (2008)	-8.7 (2005)

地質

大井川上流域は、中央構造線と糸魚川静岡構造線という日本の2大断層が交差する地域にあり、激しい構造作用を受けることで岩盤が脆く崩れやすい地域となっています。白亜紀末(約6千万年前)の四万十層群に属し、砂岩と頁岩の互層となっています。

施設



事務所

演習林から25kmほど大井川を下った場所に、演習林の運営拠点である井川演習林事務所があります。ここでは最大28人の宿泊が可能であり、厨房、風呂、トイレ、インターネット(無線LAN)も完備されています。

井川演習林の周辺地域は脆い地質、急峻な地形から、わが国でも有数の土砂生産量を誇ります。そのため地形学や砂防工学に関する多くの研究会が開かれています。



研究会



無岳作業所

演習林の中央には、現地での活動の拠点となる無岳作業所があります。最大30人の宿泊が可能であり、風呂、トイレ、自家発電施設などがあります。大自然の中にあり、自然教育、研究を行ううえで最適な場所です。

実 習

実 習 名

- 森林生物学実習
- 森林環境工学実習
- 自然地域計画実習
- 環境共生学実習（大学院）
- 山の教室（公開講座）
- セミナーおよびフィールドワーク F（立正大学）
- 水圏地球物理学II A（京都大学）
- 地質学基礎野外実験II

森林の中での土砂や水の動きの調査、森林レクリエーション施設や製紙工場の見学等を行うことで、森林の機能や利用法に関する知識、技能を身につける実習です。写真は演習林近傍にある大規模崩壊地の見学をしているところです。



森林環境計画実習

研 究



皆伐
予定地

山岳域における森林の伐採が微気象、土砂移動、炭素・窒素循環に及ぼす影響を観測している様子です。山岳域は地形が急峻であり気象条件も厳しいことから、気候変動や森林植生の変化がおきると、土砂移動や炭素・窒素循環等が大きな影響を受けます。



押出沢

演習林内に設置された土石流観測装置の写真です。井川演習林は全国の大学がもつフィールドの中でも最も土砂移動が活発であるといえ、毎年のように土石流が発生しています。それを生かした砂防や地形に関する研究が行われています。

施業管理

ツキノワグマが樹木の皮を剥く「クマ剥ぎ」による被害木の写真です。被害木は建築用木材としての価値がなくなってしまうため、クマ剥ぎは林業に深刻な打撃を与えています。そのため、井川演習林ではクマ剥ぎの被害や対策に関する研究が行われています。



クマ剥ぎ



クマ剥ぎ防除



シカ

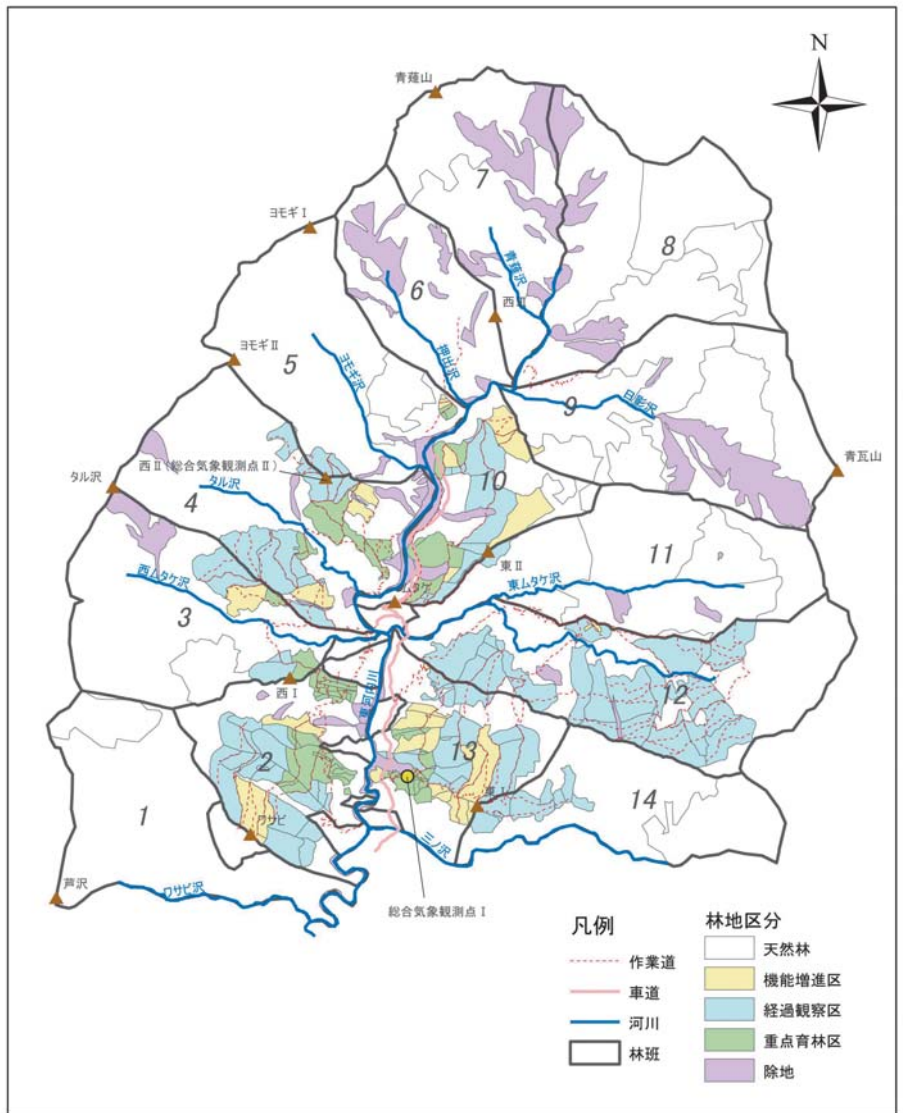
井川演習林内には1,300haを超える広大な天然性二次林が広がっており、野生動物の宝庫となっています。写真は演習林内で野生のシカが泥を食べ、ミネラルを補給しているところです。



カモシカ

南アルプスカモシカ保護地域に指定されており、多くの動植物の生息地になっています。

■ 林相図



1:28,000 0 250 500 1,000 1,500 2,000メートル